

有明工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	都市環境マネジメント論	
科目基礎情報							
科目番号	AC044			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	前期:1		
教科書/教材	適宜プリント配付。副読本は、次の通り。葉袋他「生活の視点でとく都市計画」彰国社、内山監修+佐々木著「景観とデザイン」オーム社、西村+野澤編「まちの見方・調べ方」朝倉書店、東大都市デザイン研究室「図説都市空間の構想力」学芸出版社、陣内秀信「イタリアの街角から」弦書房。						
担当教員	森田 健太郎						
到達目標							
1. 都市空間をデザインするという立場から、建築と都市の関係をどう捉えるべきか、説明できること。 2. 都市環境の意味を理解し、その捉え方を説明できること。 3. 都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を説明できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目1	都市空間をデザインするという立場から、建築と都市の関係をどう捉えるべきか、的確に説明できること。			都市空間をデザインするという立場から、建築と都市の関係をどう捉えるべきか、説明できること。		都市空間をデザインするという立場から、建築と都市の関係をどう捉えるべきか、説明することができない。	
評価項目2	都市環境の意味を理解し、その捉え方を的確に説明できること。			都市環境の意味を理解し、その捉え方を説明できること。		都市環境の意味を理解し、その捉え方を説明することができない。	
評価項目3	都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を的確に説明できること。			都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を説明できること。		都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-2							
学習・教育到達度目標 B-2							
教育方法等							
概要	「都市環境」とは、何か。都市をどうとらえれば良いのか。そして、豊かな都市を守り・つくり・育むには、どうすれば良いか。 講義とフィールドワーク、ならびに3つの課題（課題1：建築と街並み／課題2：都市の捉え方／課題3：都市の方向性を定める）への取り組みを通じて、都市を考える際の視座を養うとともに、都市計画に関わる基本的な事項を学ぶことが本科目の目的です。 なお、本科目では、SDGsのうち「11.住み続けられるまちづくり」について学ぶ。						
授業の進め方・方法	本科目では、授業時間外にデータ収集やまとめ、フィールドワークとそのまとめなどをしてもらい、これらの内容をチェックするかたちで授業を進めます。従って、授業時間中に有意義な意見のやり取りができるよう、各自しっかりと準備をして授業に臨むこと。						
注意点	(1) 本科目は、1学年の時に学習した「都市・空間デザイン論」に続くものです。「都市環境マネジメント論」では、より豊かな都市空間を保全・創出していくにはどうするか。その具体的な方法論について学習します。 (2) 本科目の位置づけは、そこだけに限定されるものではありません。なぜなら、都市は、そこにある要素群や地域の人々のくらしだけでなく、それらの背景にある歴史文化の蓄積なども含めて多様な条件の上に成り立つものであり、その秩序を解読するには広い視野と知識が必要だからです。そうした都市空間を扱う本科目は、これまで学んだ授業の成果はもちろん、併せてみなさんが日常生活で得た知識・経験の上にも成り立つものです。 (3) 本科目の成果は、各自の専門分野の学習にフィードバックして欲しいと考えています。特に、建築や都市の計画・設計を専攻する人には、それらのプロセスで大いに役立ててくれることを期待しています。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			本科目の目的と構成、進め方、ならびに評価方法等を知る。	
		2週	建築と街並み			建築と街並みの関係を考えることを通じて、建築と都市の関係の捉え方を理解すること。	
		3週	建築と街並み（フィールドワーク）			建築と街並みの関係を考えることを通じて、建築と都市の関係の捉え方を理解すること。	
		4週	建築と街並み（まとめ作業）			建築と街並みの関係を考えることを通じて、建築と都市の関係の捉え方を理解すること。	
		5週	建築と街並み（発表とディスカッション）			建築と街並みの関係の捉え方を説明できること。	
		6週	都市の捉え方			都市環境をマネジメントするために具体的に何をしなければならないのか。地域調査法を身につけ、その成果を表現できること。	
		7週	歴史を知る			年表、地図、写真などを調べ、地域での出来事を時系列で理解する。また、古い絵図、古写真などを用いて、地域環境の形成過程を空間的に理解し、説明できること。	
		8週	地形を知る			地形図、土地条件図、ハザードマップ、地名を調べ、地形について説明できること。	
	2ndQ	9週	空間を知る			建物、道路、土地利用、自然環境を調べ、建物やインフラなどの環境全体について説明できること。	
		10週	生活を知る			住宅地図、国勢調査、各種の統計調査を分析し、まちの動き、生活の全体像、産業の状況について説明できること。	

		11週	計画・事業の履歴を知る	これまでの整備事業、都市計画マスタープラン、政策の動きを調べ、現状をより深く理解し、現在の地域の姿について説明できること。
		12週	都市の事実を知る	都市の事実を知る上で調べた歴史、地形、空間、生活、計画・事業を理解し、都市全体の現状について説明できること。
		13週	都市の方向性を定める	都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を理解すること。
		14週	都市の方向性を定める	都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を理解すること。
		15週	都市の方向性を定める（発表とディスカッション）	都市の現状を読み解くことを通じて、都市計画を進める際に大切になる基本事項を説明できること。
		16週	予備	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。	5	前2,前5,前15
				近代の都市計画論について説明できる。	5	前2,前5,前10,前11,前15
				現代にいたる都市計画論について説明できる。	5	前10,前11,前15
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。	5	前2,前3,前4,前5,前10,前11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	20	0	0	70	0	90
分野横断的能力	0	0	0	0	10	0	10